

「平成22年度パテントコンテスト・デザインパテントコンテスト表彰式」開催  
(平成23年1月28日)

平成23年1月28日(金)、日本弁理士会、文部科学省、特許庁及び(独)工業所有権情報・研修館が主催するパテントコンテスト、デザインパテントコンテストの表彰式が開催されました。

これらのコンテストでは、学生の知的財産に対する意識と制度に対する理解の向上を目的として、高校生、高等専門学校生、大学生が実際に特許や意匠の制度を利用しながら、発明・デザインの創造から権利取得までを体験してもらいます。

本年度は、パテントコンテストに333件の応募があり、表彰対象となったものは15件、デザインパテントコンテストに113件の応募があり、表彰対象となったものは23件という結果でした。

始めに、当会の飯田昭夫パテントコンテスト委員会委員長から講評が述べられました。

続いて、表彰対象となった学生には、当会の筒井大和会長をはじめ、文部科学省研究振興局 研究環境・産業連携課長の池田貴城氏、特許庁総務部企画調査課長の後谷陽一氏、(独)工業所有権情報・研修館理事長の清水勇氏から表彰状が授与されました。

同コンテストでは主催者賞として「日本弁理士会会長賞」「独立行政法人工業所有権情報・研修館理事長賞」が設けられています。



うち、「手動式噴霧角度自在型ジベレリン処理器」で「日本弁理士会会長賞」を受賞された山口県立田布施農業高等学校の正田麻衣さん(同日ご欠席)、内山恵さん、岡田真菜美さん、山賀芳徳さん、山本力也さん、芦山涼平さん及び引率の廣田正治先生らは、同日の表彰式終了後、日本弁理士会に来会いただき、筒井会長と歓談されました。

次年度もパテントコンテスト、デザインパテントコンテストは開催される予定で、日本弁理士会も主催者の一端を担う立場として、学生への知的財産教育に貢献してまいります。

